

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月 5日 更新

事務事業名		水道事業建設改良事業(上水道配水施設等)				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	水道局	課長名	岡田 光弘
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化				所属課	上下水道課	担当者名	田中 良知
	施策の柱	60	水の安定供給				所属班	管理工務班	(内線)	1153
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	上水道の配水池等施設の整備を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道使用者数(給水件数)は、本市の人口増加に伴い増加傾向(平成23年3月末19,798件→平成28年3月末22,187件)にあることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。(平成28年度末に竹迫地区簡易水道及び栄地区簡易水道を上水道へ統合)
【業務の流れ】	上水道の配水池等施設整備のための工事発注等業務。用地取得が必要な場合は用地交渉あり。 ①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水池等整備工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料、用地購入費。
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
木原野配水池(配水タンク)施設工事、さく井工事		木原野配水池管理棟建築工事、電気・機械設備工事	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア 上水道配水池等施設数	箇所	木原野配水池施設工事費による増	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
上水道使用者	人	→ア 上水道使用者数	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
安全で良質な水道水を安定的に使用できる	%	→ア 上水道使用者数のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた割合	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合			全体計画
			～年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
①活動指標	ア	箇所	10	9	9	9	14	14	14	14
②対象指標	ア	人	53,675	54,388	56,000	55,432	57,000	58,000	59,000	60,000
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	184,100	53,000	436,224	412,585	1,196,110	700,000	232,000
		その他	千円	514,645	8,368	109,056		65,279	313,059	58,000
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	698,745	61,368	545,280	412,585	1,261,389	1,013,059	290,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	7	7	4	7	4	4	4
		延べ業務時間	時間	1,780	1,380	500	1,560	500	500	500
	(B)人件費計	(B)人件費計	千円	7,091	5,123	1,992	0	1,992	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)		千円	705,836	66,491	547,272	412,585	1,263,381	1,015,051	291,992	91,992

事務事業名	水道事業建設改良事業（上水道配水施設等）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 木原野配水池の造成を計画している。計画どおりに事業が進捗すれば、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 配水施設の増設・機能強化を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水の供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 配水施設の整備等を行う類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 設計及び工事の詳細について打合せを綿密に行い、必要最小限の予算で事業を行うことにより削減余地がある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で、他事業（下水道整備）との兼務で事業に当たっており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 すべての上水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ施設の整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

配水池施設において、増設等の機能強化を図るとともに、老朽化した施設等の改築及び設備等の更新を進め、安定的な配水供給に努める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<